



NO.1036

2015・9・20

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三・四四五八
F 四三・四四五七

安保法案の慎重審議の意見書案

本会議で逆転可決!

7日に総務・経済委員会で、安全保障関連法の廃案を求める請願・陳情が、委員会審査で志誠会と公明クラブが反対したため継続審査となっていました。

このままでは網走市民の声が政府に届かないとして、「平和安全法制整備法案」及び「国際支援法案」の今国会以降の更なる慎重審議を求める意見書案を川原田議員が提出者になり松浦議員、栗田議員が賛同者になって議員提案の意見書案を提出しました。

委員会審査の結果、志誠会と公明クラブが反対し、意見書案は不採択となり、本会議に報告されました。しかし、委員長の報告に、古都議員と松浦議員が反対討論、近藤議員が賛成討論を行い、採決の結果、委員長の意見書を不採択の報告に、志誠会と公明クラブが賛成しましたが少数のため、意見書を不採択とする報告が否決されました。

次に、改めて意見書案に対しての賛否の結果、賛成多数で「平和安全法制整備法案」及び「国際支援法案」の今国会以降の更なる慎重審議を求める意見書案は採択になりました。

松浦議員は、戦争法案が最終段階にきている中で、最後まで網走市民の声を政府に届けようと「一部保守系と平和を願う一致点での共同が実を結んだもの」、歴史的な出来事だと述べています。

戦争法案絶対いや!



松浦奮戦メモ

「平和安全法制整備法案」及び「国際支援法案」の今国会以降の更なる慎重審議を求める意見書案について、

て、分かりずらいかもしれませんが、少し説明します。網走市議会は「請願・陳情」については、委員会審査は「全会一致を旨とする」ことが決められています。今回の委員会審査にあたっては、請願・陳情ではないので、この決めに拘束されませんし、議案として提出されているので賛否をとることになります。

委員会では志誠会と公明が反対したため意見書案が否決されました。しかし、本会議では委員会の不採択の報告が賛成が少数のため否決されました。そのため、改めて本会議として意見書案について採決の結果、意見書を採択すべきとの議員が多数になり、委員会の報告を逆転し可決されたのです。やりました!

友達の分も訴えます!

13日(日)、雨が降る中「ストップ!戦争法案網走の会」の呼びかけに約40人の市民が「戦争法案、強行採決するな」と抗議宣伝行動を行いました。駒場ベーシック店前(歩道)に集まった人々は、安倍自公政権が強行採決する動きを強める中、それぞれの思いを訴えていました。

会代表の遠藤仁さんは「政府は17日にも採決を強行すると報道されていますが、最後まであきらめることなく、みなさん一緒に頑張りましょう」と呼びかけていました。

いても立っても居られなく、毎週抗議の集会に参加しているという専業主婦の若い女性は「ママ友にも呼びかけたが、この場所には出られない人たちがいっぱいいます。自民党、公明党の議員さんに、網走にも戦争法案に反対する市民がいることを知って欲しい」と訴えています。斜里や小清水から来た人、バス停でじっと聞き入るなど、8人のスピーチ(訴え)に拍手を送っていました。

最後のコールの呼びかけに、バスを待っていた人からもコールが響きました。

流水

網走市内のほ場で、ジャガイモの害虫シロ・シストセンチュウが発見されたとの連絡が入り、以前、センチュウが発見された時のことがよみがえり、シストと言う硬い殻に守られて10年以上も生き続けます。土は移動できないし、農薬などでも簡単に駆除できません。▼ジャガイモは、北海道の重要な基幹作物です。早速、政府に被害状況の調査、まん延防止策、営農支援を求めました。▼また、日本に存在しないセンチュウが何故、発見されたのか。侵入経路の解明が急がれます。同時に抵抗性品種(この害虫を寄せつけない品種)の開発が避けて通れません。イモの原種を生産している独立行政法人種苗管理センターから話を聞きました。イモの増殖は種と違って増殖率が低いので、抵抗性品種の開発には10年ぐらいかかると言います。林芳正農水相は「平成32年度を目途に進めている、加速していきたい」と答えました。そんな時間に時間がかからないかと思いつながら、被害が広がるのを求めています。▼関東各地に大きな被害をもたらした大雨洪水災害調査で先週末、茨城県に入りま

した。台風18号の影響で発生した雲が鬼怒川に沿うように南北に停滞したため水位が上昇し、堤防の決壊、溢水で大きな被害が発生しました。▼安倍総理は、被害対策会議は10分で終わり、その後、戦争法の採決日程の打ち合わせに1時間以上をついやしたそうです。が、苦難に心を寄せない姿勢に怒りを覚えます。日本共産党参議院議員紙智子